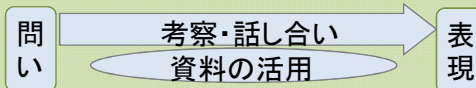


新必修科目「歴史総合(仮称)」

- 世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目
- 歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる本質的で大きな問いを設け、諸資料を適切に活用しながら、比較や因果関係を追究するなど社会的事象の歴史的な見方や考え方をを用いて考察する歴史の学び方を身に付ける。



現行科目「世界史B」

- (1)扉
- (2)形成
- (3)交流と再編
- (4)結合と変容
- (5)地球世界の到来

◎新必修科目で習得した歴史の学び方を活用し、歴史に関わる諸事象の意味や意義等を広く深く考察し探究する

現行科目「日本史B」

- (1)原始・古代
- (2)中世
- (3)近世
- (4)近代
- (5)両大戦期
- (6)現代

新選択科目
「世界史探究(仮称)」

- 世界の歴史の大きな枠組と展開について、地理的条件や日本の歴史と関連付けて広く深く探究する。
- 前近代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を生かして、諸資料を効果的に活用して歴史を考察し表現する。
 - ・近現代につながる諸地域世界の文化の多様性や複合性を扱い、時間軸(タテ)と空間軸(ヨコ)の変化に着目して理解する。
- 近現代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等、前近代の学習で成長させた歴史を考察し表現する力を活用し、近現代の諸地域世界の関係性や多元性を捉え、主に空間軸(ヨコ)の変化に着目して、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史に関する概念等を習得する。

新選択科目
「日本史探究(仮称)」

- 我が国の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史、歴史を構成する様々な要素に着目して、総合的に広く深く探究する。
- 前近代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を一層高めるため、多様な資料を効果的に活用して歴史を解釈、説明する力を段階的に成長させて歴史を考察し表現する。
 - ・継承や変化に着目し、近現代につながる各時代の展開の理解や、我が国の伝統や文化への理解を深める。
- 近現代では、
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等、前近代の学習で成長させた歴史を解釈、説明する力を活用し、地域と日本、世界の相互の関係を捉え、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。
 - ・「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史に関する概念等を習得する。